

4年生の漢字



200字

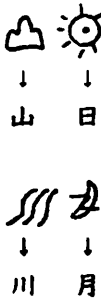
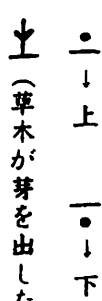
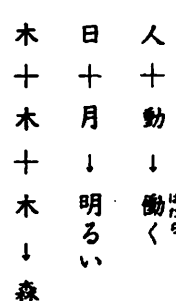
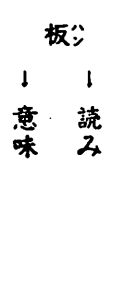
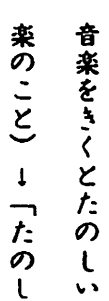
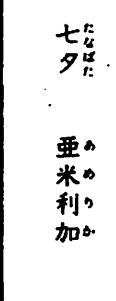
数字ははげみの番号

60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45
歴	要	便	必	堂	仲	争	世	周	散	康	型	救	関	果	愛
連	養	包	票	働	貯	倉	成	祝	残	告	景	給	観	貨	案
老	浴	法	標	特	兆	巢	清	順	士	差	芸	挙	願	課	以
勞	利	望	不	得	腸	束	静	初	氏	菜	欠	漁	希	芽	衣
録	陸	牧	夫	毒	低	側	席	松	史	最	結	共	季	改	位
	良	末	付	熱	底	統	積	笑	司	材	建	協	紀	械	困
	料	滿	府	念	停	卒	折	唱	試	昨	健	鏡	喜	害	胃
	量	未	副	敗	的	孫	節	燒	児	札	驗	競	旗	街	印
	輪	脈	粉	梅	典	帶	說	象	治	刷	固	極	器	各	无
	類	民	兵	博	伝	隊	浅	照	辞	殺	功	訓	機	覺	英
	令	無	別	飯	徒	達	戦	賞	失	察	好	軍	議	完	栄
	冷	約	辺	飛	努	単	選	臣	借	参	候	郡	求	完	塩
	例	勇	変	費	灯	置	然	信	種	産	航	徑	泣	加	加

漢字についての話 その1

漢字は、中国で作られた文字です。漢字のできかたには、次の六とおりの方法があります。

☆ 漢字のでき方

できかた	意 味	れ い
① 象形文字 しやうけい	ものの形を かんたんな絵でかき表してできたもの。 絵に書き表せないものを、点や線を使って その性質や意味を表したもの。	 ↓ 山 ↓ 日 ↓ 川 ↓ 月
② 指事文字 しじ	絵に書き表せないものを、点や線を使って その性質や意味を表したもの。	 ↓ 上 ↓ 下 ↓ (草木が芽を出したところ) ↓ 土
③ 会意文字 かいい	象形文字や指示文字を二つ以上組み合わせることで列の意味を表したもの。(日本で作ったものもある。)	 人 十 勳 ↓ 働 <small>はたら</small> く 日 十 月 ↓ 明るい 木 十 木 十 木 ↓ 森
④ 形声文字 けいせい	二つ以上の漢字を組み合わせて、字の半分が意味をもつ半分が読みを表したもの。	 板 ↓ 読み ↓ 意味
⑤ 転注文字 てんちゆう	ある漢字の意味をかえて、別の意味のことばにしたもの。	 楽のこと ↓ 「たのしい・ラク」
⑥ 仮借文字 かしゃく	漢字の意味に関係なく、読み方だけを借りたもの。	 セツ 亜米利加

- 1 じょうにみちたまなざし。 地図を買った。
- 2 の手紙を発送した。新しい方ほうを した。
- 3 おかしを半分 食べてしまった。それは、 から調べていたことだ。
- 4 の整理にいそがしい。きゆう食の 。
- 5 目まぐるしくじゅん がわかる。大きな数で を学習した。
- 6 たて物のしゅう は縁のしばふ。みんなは先生をわっととり んだ。
- 7 ちようの調子が悪い。
- 8 どんな しょうを受けましたか。受け取った のはんをおす。プリントを さつする。
- 9 が話せるようになりたい。イギリスのことを という。
- 10 文化くん章を受ける 。港を中心にして えてきた町。 ようを考えた食事。
- 11 海水の がこびりついていた。水そうにすなど を入れる。
- 12 市の予算から かを出す。人口が の国。
- 13 オリピックにさん する国々。水さん物を する。

カ	一	一	見	口	行	一	キ	文	一	言	貝	木
管	官	完	覚	各	街	害	械	改	芽	課	貨	果
くだ カ ン	カ ン	カ ン	カ ク おぼ える さ ま す	カ ク	ま ら ガ イ	ガ イ	カ イ	カ イ あ ら た ま る	め ガ	カ	カ	カ は た す は て る
ノ ハ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ 管 管 管 管 管 管 管	一 ハ 六 六 六 官 官 官 官 官	一 ハ 六 六 六 官 官 官 官 官	一 ハ 六 六 六 官 官 官 官 官	ノ ク タ タ 各 各 各	ノ シ イ 行 街 街 街 街 街 街 街	一 ハ 六 六 六 中 害 害 害 害	一 ハ 六 六 六 中 害 害 害 害	一 ハ 六 六 六 中 害 害 害 害	一 ハ 六 六 六 中 害 害 害 害	一 ハ 六 六 六 中 害 害 害 害	ノ イ イ 化 化 化 化 化 化 化 化 化 貨 貨 貨 貨 貨 貨 貨	一 ハ 六 六 六 中 害 害 害 害
管 理 ゴ ム の 管	長 官 教 官	完 全 完 せ い	自 覚 感 覚	各 自 各 地	商 店 街 街 街 街 街 街	風 水 害 害 害 害	機 械	改 正 改 り よう	発 芽 木 の 芽	放 課 後 課 外	貨 物 列 車 金 貨	果 実 け つ 果

- 14 相談のけつ□、ヒマラヤをえらんだ。用事を□たす。□酒を飲む。
- 15 □が通った。□を集める。
- 16 昼休みや□をりようする。□クラブにさん加する。
- 17 春になって□の□が出てきた。ヘチマのたねが□する。
- 18 村の人たちは土地□りようを進めた。行を□めて書いた方がいい。
- 19 新しいき□をすえつける。
- 20 □□にあう心配がない。□で木がかれた。
- 21 □で知り合いに会った。□で買い物をする。
- 22 花を世界の□□にうつし変えた。手荷物は□□で持ちなさい。
- 23 体にはいろいろな□□がある。リーダーとしての□□。
- 24 □□にひとり立ちする。新しいビルが□せいした。
- 25 ぎ式を受け持つ役所の□□。□□によばれた。
- 26 アパートの□□人に会う。ゴムの□□に空気を入れる。

27 □□を通る。げん□□で紙づつみをわたした。

理科の週プロに強い□□をもった。

28 動物の□□さつ記ろくを読む。学習さん□□の日。

29 ダムの関係者全員の□□がたっせられた。□□いをかなえてあげよう。

30 □□ぼうをもって生きる。

31 □□それぞれに自ぜんは美しい。□□せつの草花を□□さつする。

32 二十一□□に生きるわたしたち。□□元年はキリストの生まれた年です。

33 「きょうげん」は□□げきの一つだ。□□びいさんで家に帰った。

34 世界の□□を調べる。□□を先頭にして行列が進む。運動場に□□を上げる。

35 □□をあらう。□□合そう。

36 新しく買い入れた□□は調子がいい。□□がこわれているので注意してください。

37 おがわっ子□□の□□をつとめる。

38 新聞の□□広こくを見る。うちの人のゆるしを□□める。おこづかいのね上げをよう□□した。

39 ぼくは小さいころ□□き□□だった。あの人の前では□□き□□を見せたくない。

- 40 近くを通った汽船に□□された。心配して□□い出そうとした。□□□□が走る。
- 41 楽しい□□の時間。きょうはお父さんの□□りよう日。
- 42 学年代表議員のせん□□が行われた。発言したい時は、□□してください。
- 43 □□旗を上げた□□が□□にもどってきた。
- 44 □□□□を自由に使いこなす。□□に力を合わせてはたらくなかまがほしい。
- 45 少年たちの□□□□ぶりに感心した。農業□□組合。
- 46 細きんをけんび□□でかく大して見る。□□を持っていく。
- 47 □□に勝つ。□□をテレビで見える。
- 48 太陽よりもずっと遠くにある□□□□。□□観そく船に乗り組む。
- 49 台風のひなん□□□□を行う。漢字の読み方には、音読みと□□□□みがあります。
- 50 □□□□をさし向けててきをせめた。□□□□を着た□□□□が立っている。
- 51 市部から□□□□にかけての大水。□□□□東浦町に住んでいるわたしたち。
- 52 円の中心を通る線を□□□□という。

- 53 も ひ行機を作った。 バスに乗って湖へ行った。
- 54 図工の時間に をかく。 が悪い。
- 55 で白雪ひめをえんじた。昔から日本につたわる じゅつ。
- 56 病気になって せきした。一日も かさず学校へ通いとおす。 のれんらくをする。
- 57 金魚は 死んでしまった。何かを ぶような手つき。けんさの がよかった。
- 58 新しい工場を せつする。だん地や家がどんどん つ。
- 59 こうに気をつけよう。ほ 室でけがの手当てをする。
- 60 観さつしたり したりする。けい することも大切な学習だ。
- 61 水はえき体で、氷は だ。だんごのように土を丸く める。ボンドで する。
- 62 計画は見事にせい した。 せきをたたえる。
- 63 にめぐまれた体育祭。友だちの がありがたかった。妹はいちごが きた。
- 64 のよい日を与えらぶ。 がおだやかになる。
- 65 遠い外国への をゆめ見る。世界と日本を ぶ 。

生	ム	一	殺	リ	木	日	木	一	一	工	口	广
産	参	察	殺	刷	札	昨	材	最	菜	差	告	康
う む う ま れる	ま い る	サ ツ	こ ろ す	サ ツ す	サ ツ ふ だ	サ ク	ザ イ	も つ と も	な サイ	さ す	つ げ る	コ ウ
・ 一 一 一 一 立 产 产 产 产 产	・ ム ム ム ム 参 参 参	・ 一 一 一 一 一 察 察 察 察 察	・ ノ ム ム ム ム 殺 殺 殺	・ フ フ フ フ 刷 刷 刷	・ 一 一 一 一 一 木 札 札 札	・ 一 一 一 一 一 日 日 日 昨 昨 昨	・ 一 一 一 一 一 木 材 材 材	・ 一 一 一 一 一 一 最 最 最 最 最	・ 一 一 一 一 一 一 菜 菜 菜 菜 菜	・ 一 一 一 一 一 一 差 差 差 差 差	・ 一 一 一 一 一 一 告 告 告 告 告	・ 一 一 一 一 一 一 康 康 康 康 康
生 産 産 物	参 加 参 考	観 察 け い 察	殺 害 殺 虫	印 刷	名 札 千 円 札	昨 年 昨 日	材 り よ う 材 木	最 近 最 高	野 菜 菜 の 花 畑	大 差 交 差 点	ほ う 告 告 告	健 康

66 に気をつけて夏休みを送る。

67 新聞に本の をのせる。集会の時こくや場所を げる。結果のほう を待つ。

68 運動場の広さは他校と が無い。 では一時てい止する。

69 くだものや ・花などを作る農家。あたり一面がきれいな の だ。

70 デパートには 行ったばかりだ。動物の中で も速いのは鳥だ。 の人出。

71 作文を書くための りょうを集める。 おき場が近くにある。

72 の苦いけい験を生かす。 の話し合いでは意見がうまくまとまった。

73 毎日、 をつけましょう。学校の帰り道に を拾った。

74 新聞を してみんなに配った。学校新聞をたくさん った。

75 ざいで虫をたいじする。 げん場に急ぐ。虫を食い すおそろしい草。

76 ありの生活を する。けい の仕事を社会の時間に調べた。

77 図表を にして話を進める。いなかへおはか りに行った。つどいに する。

78 洋服の にはげむ。魚がたまごを む季せつ。地方の 。

種	借	失	辞	治	児	試	司	史	氏	士	残	散
たね シユ	かりる シヤク	うしなろ シツ	ジ	ジ・チ おさめる・なおる	ジ	シ こころみる	シ	シ	シ	シ	ザン のこる・のこす	サン ちる・ちらす
ニ 禾禾禾禾禾禾禾禾禾禾	ノ イイイイイイイイイイイイ	ノ ニニ失失	ノ ニニ舌舌舌舌舌舌辞辞辞辞	ノ ニニ治治治治	ノ ニニ旧旧旧旧	ノ ニニ言言言言言言言言言言	ノ ニニ司司司司	ノ ニニ史史	ノ ニニ氏氏	ノ ニニ士士	ノ ニニ残残残残残残	ノ ニニ散散散散散散
種るい 人種	借金 借家	失ぼう 失ばい	辞書 辞てん	明治 治りよう	児童 育児	試験 試合	司会者 司れい	れき史	氏名	士気 ぶ士	残ねん 残高	散歩 散ぶ

- 79 歌いながら森の□□をつづけた。木の葉が□る。殺虫ざいを□ぶする。
- 80 どうにも□ねんでたまらない。お金の□□を計算する。最後まで□って練習した。
- 81 江戸時代にはぶ□がいた。みんなの□□が高まる。
- 82 □□をローマ字で書く。
- 83 きょう土のれき□を調べた。
- 84 □□を中心に話し合った。□れい台の上立って号れいをかける。
- 85 ドッジボールの□□に勝った。□みはほとんどせい功した。むずかしい□□。
- 86 □□会で楽しい行事を考える。□□について考える。
- 87 □りょう室に入って行くかん者さん。□□時代のめずらしい写真。
- 88 大名が国を□めるせい度がつづいた。病気が□る。
- 89 国語□てんの引き方を学ぶ。□□引き大会に参加する。
- 90 ぼくが□ぱいしても父は決してしからない。気を□った母。君の意見には□ぼうした。
- 91 近くの□□に住んでいた友だち。図書館の本を□りて調べる。□□を返す。
- 差べつのない国。□まきをするときは天気を考える。いろいろな□るい。

イ	臣	貝	...	豕	火	口	々	木	刀	頁	ネ	口
信	臣	賞	照	象	焼	唱	笑	松	初	順	祝	周
シン	シン・ジン	シヨウ てゐる てらす	シヨウ	シヨウ・ソウ やく やける	シヨウ となえる	わらう	まつ	シヨウ はつ・はじめ	ジュン	シユク いわり	まわり	シユウ
ノイイ信信信信	一丁下臣臣	、シシシ世世世背背背賞賞賞	一 日 日 日 日 日 照 照 照 照 照 照 照	ノクク象象象象象象象象象象	、シシ火火火火火火火火火焼焼焼焼	一 口 口 口 口 口 唱 唱 唱 唱 唱	ノ々々々々々々々々笑笑笑	一 十 十 十 十 十 十 十 松 松 松	、ノオオオ初初初	ノ川川川川川川川順順順順順順順	、ノオオオ初初初祝祝祝	ノ月月月月月月月周周周周周
信用 通信	大臣	賞品 受賞	照明 日照り	氣象台 印象	焼きたて 日に焼ける	唱歌 合唱	大笑い	松竹ばい	初日 最初 初雪	順じよ 手順	祝辞 祝日	周囲 一周

- 92 グランドを□□した。日本は□□が海だ。
- 93 校長先生が□□をのべる。子どものたん生を□□った。こどもの日は□□です。
- 94 できごとを□□じよよく話す。先生が調理の□□をせつ明された。
- 95 校長先生が□□に話された。□□がふった。
- 96 □□めの方の意見と同じです。横づなの□□は白星だった。
- 97 □□の緑が美しい。えんぎがよい□□ばいをお正月の生け花として使います。
- 98 父は□□いしながら、人々とおう対している。□□いながら見ているおとうさん。
- 99 「さくらさくら」を□□した。□□を口ずさんだ。ねんぶつを□□える。
- 100 □□きたての味つけパン。日に□□けたはだ。
- 101 言葉づかいから受ける□□。□□は動物園の人気者だ。□□の天気予ほうを聞く。
- 102 北中の夜間□□。□□りがつづいたので、農作物がかれてしまった。
- 103 一等の□□はえん筆だ。コンクトルで□□した。
- 104 文部科学□□が会議に出せきした。
- 学者たちの話を□□しよう。学年□□を月一回発行する。

117 116 115 114 113 112 111 110 109 108 107 106 105

□□と失ばい。取り引きが□□した。火山の□□り立ちを調べる。

本のあつかい方を□□する。文の一部を□□りやくした。むだを□□こう。

読みやすいように□□した。□□くすみきった目をもつ少年。□□に足を入れる。

二、三日□□にしていなさい。しんと□□まりかえった教室。

長い時間□□する。

となりの□□の人と感想を話し合う。クラス会に□□する。決められた場所に□□した。

毎年、□□りょうを調べる。後ろに荷物を□□んだ車。□□の求め方を学習する。

「ちりも□□もれば山となる。」(ことわざ)

□□り□□で作った首かざり。□□の車に注意。

秋は読書にふさわしい□□だ。紙を□□やくしよう。竹の□□は強い。

緑の羽根について□□しよう。□□を読む。ねっ心に根気強く□□いてまわる。

□□の海で泳いだ。□□はかな考え。

大通りで雪□□を始めた少年たち。□□そうには反対です。

大とうりよう□□に□□した。代表□□に□□げれた。

大□□のすばらしさに目を見はった。□□記ねん物に指定された鳥。

一	口	之	下	巾	子	十	糸	イ	一	マ	ハ	ハ
置	単	達	隊	帯	孫	卒	続	側	東	巢	倉	争
ち く	タン	タツ	タイ おび おびる	タイ まご	ソン	ソツ	ソク つづく つづける	ソク かわ	ソク たば	す	ソウ くら	ソウ あらそ
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
位置	単位	配達	隊長	工業地帯	子孫	卒業	続出	側面	やく東	巢箱	倉庫	戦争
ち おき	たん ご	はい たつ はつ たつ	たい ちよう たい けい	こう ぎょう ち たい	し そん	そつ ぎょう	ぞく しゆつ れん ぞく	そく めん きたが わ	やく そく はな たば	す ばこ	そう こ こめ ぐら	せん そう きよう そう

負けん気を出して□□した。村人たちは先を□□つてにげ出した。

□□が幸せな生活を人々からうばった。

□□に多くの荷物が運びこまれた。白かべの大きな□□が立ちならんでいる。

鳥が□□からとび立つ。

バラの□□をもらう。かみの毛を□□ねる。友だちと遊ぶやく□□をする。

□□のまどを開ける。物事を□□からながめてごらん。

気を失う者が□□した。遠くまで一本道が□□いている。テレビのれん□□ドラマを見る。

中学校を□□してすぐにはたらしきに出た。

□□に伝えるべき教えの数々。□□のようにわかいい人々に交って学ぶ。

□□の見学をする。波は白い□□のようにおしよせて来る。

赤みを□□びた女の子の顔。

北極たんけん□□の□□。一せい下校の□□にならぶ。

感心な新聞□□の中学生。子どもの□□と成長が楽しみだ。

ただ□□におもしろいというだけの本。長さの□□を知る。英語の□□を覚える。

びくを土手に□□いてつりを始めた。□□から古い道具を出す。

つくえの□□を右側に動かす。

ト	カ	イ	イ	ハ	白	イ	广	イ	月	儿	貝	イ
灯	努	徒	伝	典	的	停	底	低	腸	兆	貯	仲
トウ つとめる	ト つとめる	ト	デン つたえる つたわる	テン	まど テキ	テイ	そこ テイ	ひくい ひくめる	チヨウ ウ	チヨウ ウ	チヨウ ウ	なか
、 イ 少 火 灯 灯	く 女 女 如 奴 努 努	ノ 夕 イ 行 往 往 往 徒 徒	ノ イ 仁 仁 伝 伝	ノ 口 曲 曲 典 典	ノ イ 白 白 白 的 的	ノ イ 仁 仁 仁 仁 停 停	ノ 一 广 底 底 底	ノ イ 仁 仁 低 低	ノ 月 月 月 胆 胆 胆 腸 腸	ノ ノ 兆 兆 兆	ノ 貝 貝 貝 貝 貯 貯 貯	ノ イ 仁 仁 仲 仲
電 灯 灯 台	努 力	徒 歩 徒 競 走	伝 言 伝 記	辞 典 式 典	目 的 世 界 的	停 止 バ ス 停	海 底 底 へ ん	低 音 低 学 年	大 腸 胃 腸	前 兆 一 兆 円	貯 金 貯 水	仲 間

143 142 141 140 139 138 137 136 135 134 133 132 131

いつしか□□よしになった。□□と楽しく遊ぶ。

こづかいを□□する。□□池を見学した。

あらしの□□のような強い風。この建物の建せつには□□かかったそうだ。

□□の調子が悪い。水から□□きんがけん出された。

□□のための本を買う。合唱曲の□□部を歌う。

船が□□にしずんだ。この三角形の□□へんは五センチメートルだ。

バス□□の前にならぶ。活動を□□する。

□□に有名な学者。雪の玉は□□をはずれた。□□をもって行動する。

国語□□で調べる。百周年記ねん□□に出席する。

野口英世の□□を読む。古い言い□□えを集めてみる。□□板にメモをする。

□□で□□地まで行く。□□で一位になった。

□□して野球の選手になった。先生の話聞きもらさないように□□めた。

海べに白くそびえ立つ□□。暗くなったので□□をつけた。

貝	飛	食	十	才	文	心	...	毒	イ	特	イ	土
費	飛	飯	博	梅	敗	念	熱	毒	得	特	働	堂
ヒ	ヒ とぶ とばす	めし ハン	ハク	うめ パイ	やぶれる ハイ	ネン	あつい ネツ	ドク	える トク	トク	はたらく ドウ	ドウ
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十
費用 給食費	飛行機	夕飯 昼飯	博物館 博らん会	梅雨 松竹梅	敗者 勝敗	残念 記念	熱心 高熱	消毒 気の毒	得意 所得	特急 特べつ	ろう働 働き者	食堂 堂々

156 155 154 153 152 151 150 149 148 147 146 145 144

野せいのくまの□□としたすがた。□□でカレーライスを注文した。

兄は□□だ。重い石を遠くまで運ぶのは重ろう□□だ。

□□列車に乗る。きょうは□□べつな日だ。

妹は□□そうにブランコをこいだ。家の人のゆるしを□□る。□□が年々ふえる。

□□の□□だけれどがまんしておくれ。手を□□する。

□□に計算の仕方を教える先生。□□いお茶を飲む。病気で□□が出た。

つれて行ってももらえないのが□□だ。□□のスタンプをおした。

□□は時の運。□□ふっ活戦でも□□れた。

□□前線のえいきょうで雨が朝からふっている。□□をわざって正月を祝う。

□□に見学に行く。万国□□らんに多くの人が出かけた。

□□の仕たく。□□を食べてから出かけよう。ご□□とみそしる。

□□に乗る。わたり鳥が南の国へ□□んで行く。

たくさん□□がかかる。□□をはらう。

言	之	リ	ハ	米	リ	广	イ	大	一	木	示	心
変	辺	別	兵	粉	副	府	付	夫	不	標	票	必
へん かわる かえる	へん あたり べ	べつ わかれる	へい	ふん こな	ふく	ふ	つ つける つく	お おっと	ふ ふ ふ	ひ ひ ひ ヒヨウ	ひ ひ ひ ヒヨウ	ひ ひ ひ かならず
一ナナカカ亦亦変	フ刀刀辺	一ロロ号号別	一イイ斤斤兵	一フフ半半米米粉粉	一フフ副副副副	一フフ府府府	一フフ付付	一フフ夫夫	一フフ不	一フフ木木木木木木木木木木	一フフ票票票票	一フフ必必必
変化 変形	近辺 海辺	特別 差別	兵士 兵隊	花粉 小麦粉	副会長	京都府 府県	付近 付ろく	夫人	不思議 不べん	標語 目標	投票 通知票	必よう 必勝

157 先手□□。宿題は□□ずやる。□□ような材りようをそろえる。

158 □□で大とうりようを選ぶ。□□□□をわたす。

159 交通□□□□を考える。今年の□□□□を決める。

160 世の中には□□□□なことが多い。□□べんな所だから車で行こう。

161 □□とつまの二人ぐらし。キュリー□□□□の伝記の本を読む。

162 ざっしの□□ろくが楽しみだ。学校の□□□□の道はゆっくり走ろう。

163 □□□□と大阪□□。全国の都道□□□□の名前を覚える。

164 □□□□に当選した。

165 ミツバチは□□□□を運ぶ。□□□□からパンを作る。米の□□□□からもパンができる。

166 となりの国の□□□□に親切にする。おもちゃの□□□□。

167 □□□□に安くなっている。人間を□□□□してはいけない。

168 この□□□□では見かけない女の子だ。□□□□の町。

169 気持ちの□□□□を想ぞうする。交通信号が赤から緑に□□□□わった。ほねが□□□□した。

カ	糸	...	氏	月	木	ミ	木	イ	月	ミ	ウ	イ
勇	約	無	民	脈	未	満	末	牧	望	法	包	便
ユウ いさむ	ヤク	ムフ ない	ミン	ミヤク	ミ	マン みちる みたす	マツ すえ	ボク	ボウ のぞむ	ホウ	ホウ つつむ	ベン たより ピン
マ マ マ 西 西 函 勇 勇	ク ク ク 糸 糸 糸 約 約	ノ ノ ノ 無 無 無 無 無	フ フ 民	ノ ノ ノ 脈 脈 脈 脈	一 二 未 未	ノ ノ ノ ノ ノ 満 満 満 満	一 二 未 末	ノ ノ ノ ノ ノ 牧 牧 牧	ノ ノ ノ ノ ノ 望 望 望 望	ノ ノ ノ ノ ノ 法 法 法 法	ノ ノ ノ ノ ノ 包 包 包	ノ ノ ノ ノ ノ 便 便 便 便
勇 気 勇 かん	節 約 約 束	無 理 無 事	國 民 民 話	山 脈 動 脈	未 満 未 来	満 員 満 足	週 末 末 つ 子	牧 場 牧 草	希 望 望 遠 鏡	方 法 法 り つ	包 囲 包 帯 小 包	便 り ゆ う 便

182 181 180 179 178 177 176 175 174 173 172 171 170

□^{べん}りな乗り物をつくり出す。ゆう□^{びん}屋さんがおばあさんからの□^{たよ}りをとどけてくれた。

□^{ほうたい}をぐるぐるまきつけたうで。□^{こづこ}がふるさとからとどいた。周囲を完全に□^{ほうい}した。

研究にはいろいろな□^{ほうほう}がある。□^{ほう}りつを勉強する。

□^{さぼう}をもって生きていこう。天体□^{ほうえんきょう}で月を観察する。

牛や馬が□^{ぼくそう}を食べる。□^{ぼくじょう}の草の上を風がふきわたっていく。

□^{しゅうまつ}は車で出かける。ぼくは三人兄弟の□^{すえ}っ□^こだ。

愛じように□^みちた声。えい画館は□^{まんいん}だ□^んだった。□^{まんぞく}する。

□^{みらい}の日本を考える。百□^み□^{まん}の数。

□^{さんみやく}、平野などを地図で調べる。血管には□^{どうみやく}とじょう□^{みやく}がある。

□^{こくみん}の健康や教育について考える。昔話や□^{みん}□^わを読む。

うちゅうから□^ぶ□^じに地球にもどってきた。□^む□^りな話。

小づかいを□^{はつやく}□^{する}。□^{やくぞく}は必ず守ろう。

□^{けうき}□^きのある行動をたたえる。オリオンは□^{いせ}ましいわか者だ。□^{けう}かんに戦う。

195 194 193 192 191 190 189 188 187 186 185 184 183

ひつよう □□ な物しか持ってこない。だん落の□□ をまとめる。

えいよう □□ のあるものを食べなさい。一家を□□ っていく。根から□□ をすう。

かいすいよく □□ ののできるきれいな海岸。太陽の光を□□ びる。父といっしよに□□ する。

道具や機械を□□ する。バスケットボールの試合で□□ する。

りくじよう □□ 競ぎ場へ出かける。□□ と海のわり合を調べる。

かいりよう □□ してもっとよいものにしよう。□□ にしたがって行動する。

りようり □□ をするのが大好きなわたし。□□ を外国から買う。

つり上げたかつおの重さを□□ する。□□ あげの選手。

□□ 投げで遊ぶ。ルビーの□□。自転車の□□ がパンクした。

サルの□□ について調べる。□□ のおばさんに電話する。

家来に大きな声で□□ する。□□ をかけて整理した。

れいすい □□ を飲む。□□ たい冬の風。□□ によるひ害が大きい。

ほかの□□ をさがしてみよう。今回は□□ 的にゆるされた。

196

日本の□□を学習する。□□を書く用紙がある。

197

五月の□□に知多半島の海へ行った。□□さか上がりにちよう戦する。

198

村に残ったのは□□ばかりだった。年□□いた父親のことを思う。村の□□の話。

199

親の□□は動物も人間も共通だ。きびしい□□にたえる。

200

毎日ノートに□□する。カセットテープに歌を□□した。